

感染症とのたたかいと東京の医療を考えましょう！

新型コロナウイルス感染が広がり、「緊急事態宣言」が出される中で不安な毎日です。この中で都立・公社病院、民間医療機関とともに、感染者の治療と感染拡大を阻止するために全力で奮闘しています。しかし、小池都知事は3月31日に「新たな病院運営改革ビジョン」を発表、都立病院を都の直営から外し、公社病院と共に独法化することを決めました。厚労省が、昨年発表した全国440の公立・公的病院の再編統合をこの時期にも「撤回しない」と発言したのと同じ流れです。

公立・公的病院が新型コロナウイルス感染が広がる中で重要な役割を果たしているいま、独法化をすすめることは、都民・国民のいのちを切り捨てるのと同じです。今こそ、私たちはいのちとくらしを守る医療機関や、社会保障の充実を求める団体・労働組合とともに声を上げるときです。

プログラム

13:30 開会

講演 **「感染症とのたたかいと公的病院の役割」**

講師 **原田 文植 医師**

〔1971年大阪生まれ、大阪医科大学卒業後、国立感染症研究所を経て2008年より蔵前協立診療所(台東区)所長として地域医療に従事。年間のべ約2万人を診療。〕

交流

15:30 まとめ・閉会



日時 **5月31日(日) 13時30分～16時30分**

会場 **けんせつプラザ東京(東京土建会館)**

総武線<大久保駅>北口より徒歩3分

新型コロナ感染防止対策による自粛要請のため、各団体2名までのご参加をお願いいたします。



主催：都立病院の充実を求める連絡会、都民要求実現全都連絡会（東京商工団体連合会、新日本婦人の会東京都本部、東京自治労連、年金者組合東京都本部、東京都生活と健康を守る会連合会、福祉保育労東京、臨海都民連、東京都教職員組合、東京民主医療機関連合会、東京土建一般労働組合、自由法曹団東京支部、東京母親大会連絡会、新日本スポーツ連盟東京都連、東京平和委員会、東京地方労働組合評議会、革新都政をつくる会、東京社会保障推進協議会、障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会）